

州

名前

問1 1960年頃のオーストラリアの統計では、かつての宗主国であるイギリスへの輸出割合が約20%を超えて最大でしたが、近年ではアジア諸国との結びつきが強まっています。近年の統計において、オーストラリアにとって最大の輸出相手国となっている国として適切なものを選びなさい。

(2022年 茨城県公立入試 類似)

1. 中国 2. イギリス 3. 日本 4. アメリカ合衆国

問2 2020年の経済統計において、国内総生産（GDP）の総額が約1兆4000億ドル、1人あたりの国内総生産が約6800ドルを記録したブラジルの経済状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 富山県公立入試 類似）

1. 1人あたりの国内総生産が非常に高く、欧米の先進国と同等の経済水準に達している。
2. 国内総生産の総額は大きいものの、1人あたりの国内総生産はアフリカ諸国の平均を下回っている。
3. 南アメリカでは中程度の経済規模であり、隣国のアルゼンチンやチリよりも国内総生産の総額は低い。
4. 南アメリカ最大の経済規模を持ち、1人あたりの国内総生産はインドやコートジボワールを上回る水準にある。

問3 1930年代、世界恐慌による経済的な混乱から立ち直るため、イギリスはオーストラリアなどの自治領や植民地を囲い込み、域内での貿易を有利に進める政策を導入しました。このように、本国と植民地の間で関税を優遇し、域外に対しては高い関税を課した排他的な経済体制を何と呼びますか。(2017年 静岡県公立入試 類似)

1. 持続可能な開発目標 2. ブロック経済 3. 自由貿易協定 4. 経済特区

問4 カナダ、ブラジル、アルゼンチンの3カ国の農業統計を比較した際、アルゼンチンに見られる特徴として、広大な草原地帯である「パンパ」の存在が大きく影響しています。この地域に関する記述として正しいものを選びなさい。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)

1. ブラジル高原の赤土（テラローシャ）を利用し、近現代に入ってから大豆の生産量が急増した地域である。
2. 寒冷な気候のため農作物の栽培には適さないが、地下資源が豊富で鉱工業が中心となっている。
3. 温帯の広大な草原を活用し、古くから小麦の栽培や牛肉の生産が盛んで、世界への輸出拠点となっている。
4. アマゾン川流域の熱帯雨林（セルバ）を切り拓いて作られた、世界最大のコーヒー豆栽培地である。

問5 オーストラリアの地理的・歴史的特徴を述べた文として、正しい組み合わせはどれですか。(2026年 福島県公立入試 類似)

1. 人口密度が非常に高く、労働力を確保するためにかつてはポルトガルからの移民を積極的に受け入れていた。
2. 石炭や鉄鉱石などの資源は乏しいが、広大な国土を利用した小麦の生産と輸出で経済を支えている。
3. 国土の大部分が熱帯雨林に覆われており、人口は沿岸部ではなく内陸の鉱山都市に集中している。
4. 人口密度が1平方キロメートルあたり約3人と非常に低く、歴史的な背景から英語が公用語となっている。

問6 赤道付近の低地は一年中暑い熱帯の気候となりますが、アンデス山脈にある都市キトのように、標高が高い地域で見られる一年中春のように過ごしやすい気候を何といいますか。 (2022年 青森県公立入試 類似)

1. 西岸海洋性氣候 2. 高山氣候 3. 地中海性氣候 4. 熱帶雨林氣候

問7 オーストラリアの農業と土地利用の特色について、背景となる自然環境や産業構造と関連付けて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 広大な乾燥・半乾燥地域が広がっているため、農地の大部分を牧場・牧草地として利用し、牛や羊の大規模な放牧を行っている。
2. 大陸全体に肥沃な土壌が広がっているため、灌漑施設に頼ることなく、国土の全域で小麦を中心とした大規模な畑作を行っている。
3. 国土の大部分が熱帯雨林に覆われているため、世界の主要国と比較して農地面積そのものが極めて狭い。
4. 全域が温暖多雨な気候であるため、農地の大部分を耕地・樹園地として利用し、アジア諸国のような集約的な稲作を行っている。

問8 南アメリカのブラジルとオセアニアのオーストラリアに共通する、資源と産業の関わりについて述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 世界最大の原油産出量を誇り、石油化学工業が国の経済を支える最大の産業となっている。
2. どちらの国も熱帯雨林における焼畑農業が産業の中心となっており、資源輸出はわずかである。
3. 世界的な鉄鉱石の産出国であり、重工業を支える原料の供給地として重要な役割を果たしている。
4. イギリスからの移民によって開拓された歴史を持ち、国土の全域に人口が均等に分布している。

問9 コーヒーの栽培に適した自然環境について説明した記述として、最も適切なものはどれですか。(2017年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---------------------------------------|
| 1. 年平均気温が25度以上、年降水量が4000mmを超える常に湿潤な熱帯環境 | 2. 年平均気温が16～22度、年降水量が1000～3000mm程度で、収穫期に乾燥している環境 | 3. 年平均気温が16～22度、年降水量が500mm程度で、収穫期に雨が
多い環境 | 4. 年平均気温が10度前後、年降水量が500mm未満の冷涼で乾燥した環境 |
|---|--|--|---------------------------------------|

問10 ブラジルでは、さとうきびを原料としたバイオエタノール（バイオ燃料）が自動車用燃料として広く普及しています。この燃料が、化石燃料と比べて地球温暖化の防止に役立つとされる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 地下から採掘する資源ではないため、燃焼時に発生する有害なガスの量が化石燃料の半分以下に抑えられるから
2. 燃焼させた際に二酸化炭素を全く排出せず、水蒸気のみを排出するクリーンなエネルギーであるから
3. 原料となる植物が成長過程で光合成を行い、大気中の二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても全体での排出量が増えないとされるから
4. さとうきびから作られるアルコールには、大気中の二酸化炭素を分解して酸素に変える特殊な成分が含まれているから

問11 オセアニア地域に位置するオーストラリアにおいて、イギリス植民地時代の面影を残しながらも、近年アジアからの移民が急増し、社会の多様性が進んでいる背景を説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. イギリスとの軍事的な協力関係を維持するために、英語を公用語とする人々に限定して移民を認めてきたため。
2. 国内の先住民との対立を解消するために、ヨーロッパ以外からの移民を禁止する白豪主義を徹底したため。
3. 広大な国土を開発するために、周辺諸国との関わりを断ち、自国の伝統文化のみを保護する政策に切り替えたため。
4. アジア諸国との経済的結びつきを重視し、異なる文化を持つ人々が対等な関係で共存する多文化社会へと転換したため。